

[Daily 日本史]

【1】 2004 年度 本試験 日本史 B 第 1 問 A

古代から現代までの学校と学問に関する A～C の文章を読み、以下の問い(問 1～6)に答えよ。

(配点 17)

A 奈良時代には中央に大学、地方に国学があり、貴族や郡司などの子弟を対象に、儒教の經典を中心とする教育が行われた。

平安時代に入ると、有力な貴族は を設け、一族の子弟を寄宿させて、勉学の便宜をはかった。大学・国学が官吏養成機関であったのに対し、 が設立した綜芸種智院では、僧侶や庶民が学んだ。

足利学校は 15 世紀中ごろに再興され、以後発展して、戦国時代に「坂東の大学」と称された。一方、応仁の乱が発生すると、京都から公家や禅僧が地方に下り、^(a)各地に学問・思想を伝えた。

問 1 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 大学別曹 イ 最澄 ② ア 芸亭 イ 最澄
③ ア 大学別曹 イ 空海 ④ ア 芸亭 イ 空海

問 2 下線部(a)について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 桂庵玄樹は、肥後の菊池氏に招かれ海南学派を興した。
② 桂庵玄樹は、薩摩の島津氏に招かれ薩南学派を興した。
③ 絶海中津は、肥後の菊池氏に招かれ海南学派を興した。
④ 絶海中津は、薩摩の島津氏に招かれ薩南学派を興した。

B 江戸時代、幕府や藩は、君臣・父子の別をわきまえ、上下の秩序を重んじる朱子学を受け入れた。幕府は上野忍ヶ岡にあった^(b)林家の家塾を湯島に移し、学問所として整備して、林家に主宰させた。諸藩もまた、藩校を設置し、藩士の子弟を教育した。

一方、庶民の教育としては、18 世紀初め、大坂町人の出資によって懐徳堂が設立され、朱子学や陽明学などが講じられた。同じころ、京都の石田梅岩は、^(c)心学を興した。商工業の発達と文化の普及にともなって、庶民の読み・書きへの関心が高まり、江戸中期以降、寺子屋が各地に数多く開設された。

問 3 下線部(b)に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① この学問所は、のちに昌平坂学問所となった。
② この学問所では、『古事記伝』が編纂された。
③ 徳川綱吉は、朱子学以外の学派を異学と定めた。
④ 徳川綱吉は、林鷲峰を大学頭に任命した。

問4 下線部(c)について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 心学は、商人の商業活動を正当なものとして認めた。
- ② 心学は、儒教道徳に仏教・神道の教えを取り入れてつくられた。
- ③ 心学は、山片蟠桃らによって全国に広められた。
- ④ 心学は、儉約・正直などの徳目を庶民に説いた。

C 明治政府は1871年文部省を設置し、フランスなどに範をとりながら、翌年には学制を發布した。それは、「^{たつ}学問は身を立てるの^{ざいほん}財本」であるとする実学主義に立ち、「^{むら}邑に不学の戸なく家に不学の人なからしめん」との国民皆学の理念の下に、^(d)近代的な学校教育制度の確立をめざしたものであった。しかし、現実には、当時の国家財政や国民の実情に適合しなかった。そのため、その後の試行錯誤を経て、1886年に学校令ならびに諸学校通則が制定され、ここに学校教育体系の基本的枠組みが成立した。^(e)その枠組みは、若干の改変を経ながらも、第二次世界大戦後に新学制が制定されるまで続いた。

問5 下線部(d)に関連して、19世紀後半の教育・思想について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 中江兆民は、『民約訳解』でヘボンの思想を紹介した。
- ② 福沢諭吉は、慶応義塾を創立した。
- ③ 人間の自由・平等を説いた天賦人権思想が導入された。
- ④ 新島襄は、同志社(同志社英学校)を創立した。

問6 下線部(e)に関連して、この間に起こった出来事を述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 6

- Ⅰ 大学令が公布され、公立・私立大学の設立が認められた。
- Ⅱ 宇垣一成陸相の下で、中等学校以上に軍事教練が導入された。
- Ⅲ 義務教育の年限が4年から6年に延長された。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ ② Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ ③ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ④ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

【解答 1】 2004 年度 本試験 日本史 B 第 1 問 A

A

問 1 ③

問 2 ②

B

問 3 ①

問 4 ③

C

問 5 ①

問 6 ③